

学籍番号:NE19-1223C

氏名:豊田美有

---

## 親子で楽しむ工夫について

### 1. 今回のフィールドワークについて

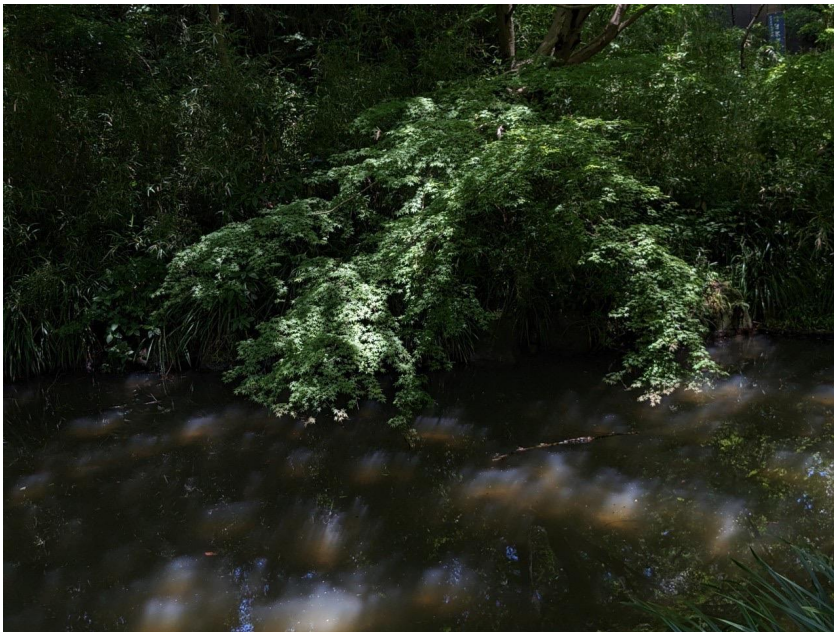
今回のフィールドワークについて、私は「親子で楽しむ工夫」について特に着目して調査を行った。生田緑地やかわさき宙と緑の科学館には親子連れや家族で訪れている人をよく見かける。園内にも親子で楽しめたり、体験できたりする工夫やコンテンツが多くあるのではないのかと思い、今回その工夫がどこにあるのか、特に着目して調査した。

### 2. 生田緑地について

まずは生田緑地を訪れた。まずは東口から入って中央広場まで向かったが、中央広場にはピクニックをする人や広場で遊ぶ人など、多くの人を楽しんでいた。広場にはベンチだけでなくテーブルもおいてあり、大人数で来ても昼食を取ったりしやすいようになっているなど思った。

中央広場にある機関車や客車にも子供たちが多く集まっていた。子供が好きな電車や機関車が展示してあって、かつ客車は中に入ることもできるので、遊具などがなくても興味を持つものが展示してあることはいいところだと思った。

生田緑地は楨形山を切り開いて作っているので坂道が多いのだが、基本的に大きな道路や人通りが多くなりそうな道はコンクリートで固められ通りやすくなっており、きつい坂道には階段も多いため、子供でも歩きやすくなっているなど感じた。



### 3. かわさき宙と緑の科学館について

次にかわさき宙と緑の科学館に入った。かわさき宙と緑の科学館はプラネタリウムが有名なので、まずはプラネタリウムを鑑賞した。プラネタリウムは一般向けだけでなく、ファミリー向けの子供でも楽しめるようなプログラムもあり、親子でも安心して楽しめるなと思った。

かわさき宙と緑の科学館には自然体験と天文体験の二つがある。自然体験のゾーンでは、川崎で見られる地形や植物や動物についての展示がされていた。特に親子で楽しめるようになっているなと思ったのは、剥製が多かった点と五感を使った展示が多いなと感じたところである。

剥製の展示は他の同じ規模の科学館よりも多く、ショーケースなどに入っておらず手にとれるほどの位置に多く展示してあった。また、棚を開くともっと多くの剥製展示が置かれていたりして、実際に本物を間近で見ることができて、大人でも子供でも楽しめて、会話の種になるような展示の工夫がされているなと思った。



また、実際に葉っぱの感触を触ったり、虫や鳥の声を聞けたりするような五感を使った展示も多かった。映像や文字ではなく、実際に体験できるような工夫がされているなと思った。



天文体験のコーナーには衛星や天体の写真が展示されていた。横には多くの書籍や図鑑が読めるスペースが用意されており、親子で知識を広められるような工夫だと思った。